

令和7年度 つくば国際東風高等学校 教育方針

1 建学の精神

「白梅の花実両全」の姿

寒苦風雪に耐え、百花に先がけて香り高く開花し、やがて立派な実を結ぶ白梅の姿。

2 教育目標

「ひたむき」「誠実」「謙虚」の学校づくり

社会人として求められる確かな学力や豊かな人間性を身につけさせ、自己の将来を見つめた職業観・勤労観に基づく進路実現を支援すると共に、「国際性・社会性・実用性」を重視した教育を推進し、国際的視野を持った、社会に貢献できる人材の育成に努める。

3 目指す学校像

(1) 生徒・教職員、共に学び続ける学校

生徒：一人ひとりが常に高い志をもって学び続け、確かな学力の向上を図ります。

教員：授業改善のための校内研修や自主研修を行い、授業力の向上を図り、分かる授業、学びが実感できる授業を展開します。

(2) 生徒・教職員の信頼関係が構築された学校

生徒面談を充実させ、生徒理解を図りながら、生徒と教職員との信頼関係を構築し、良好な人間関係づくりに努めます。

(3) 懇切丁寧な指導・きめ細かな指導を実践する学校

学習指導では、少人数指導や習熟度別指導を生かして、生徒一人ひとりの教育的ニーズ(習熟度)に応じた懇切丁寧な指導、きめ細かな指導を実践します。また、不登校生徒や発達障害の傾向をもった生徒に丁寧にに関わり、その改善を図りながら、全生徒が安定した学校生活を送れるようにします。

(4) 生徒一人ひとりの個性に応じた多様な進路実現が図れる学校

キャリア教育を積極的に推進し、生徒の将来設計や人生設計の動機づけとなる機会を提供するとともに、生徒一人ひとりの社会的・職業的な自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成を図り、個々の生徒の進路実現を支援します。

(5) 地域・外部機関と連携し、生徒の興味関心を引き出す活力のある学校

生徒の意見・提案を積極的に取り入れ、より主体的に楽しめる学校行事を提供します。最先端のコンテンツを盛り込んだエンターテイメント性の高い参加型の活動を通して生徒の興味関心を広げます。運営には外部団体や企業と連携し、義務教育学校をはじめ地域の方々にもご参加いただき、本校は地域交流の拠点となるよう努めます。

4 本年度の重点目標

(1) 学習指導の充実

新しい教育課程が学年進行で実施され3年目となり、その変化に対応した指導内容と指導方法の研究を継続して実施する。

ア 教師としての教科の専門性、指導技術の向上を図るために、「学び続ける教員」としての自覚をもち、日々研鑽に励む。

イ 「楽しく・わかりやすい授業」にすべく、校内研修(研究授業)や自主研修(教材研究)に励み、教科の指導内容、指導方法の工夫・改善を図り、授業を充実させる。

ウ 本年度をICT教育3年目と位置づけ、教科指導にiPadや電子黒板等のICT機器(ツール)を積極的・効果的に活用し、「楽しく・わかりやすい授業」を実践する。

エ 少人数指導や習熟度別指導を生かして懇切丁寧な指導・きめ細かな指導を行い、基礎的・基本的な内容や発展的な内容の定着を図る。

オ 生徒の家庭学習の習慣化を図り、予習・復習の学習習慣を定着させ、確かな学力の向上を図る。

カ 課外授業の充実を図ると共に、生徒の自学学習を支援し、生徒自身の学びを深める。

(2) キャリア教育の推進

ア 自分の将来設計・将来展望の中に建設的に上級学校等への進路を位置付け、自分の将来に対して夢や希望が持てるよう指導する。

イ キャリアガイダンス、キャリアカウンセリング、進路別見学会、進路講演会、大学出前授業などの機会を提供し、進路(進学・就職)に対するしっかりとした動機付けを図る。

ウ 個々の生徒の進路希望、学力の実態及び今後の発展性などを常に把握しながら、より上位の進路目標を設定させ、その達成に向け全力を傾ける。

(3) 健全な心身発達を目指した教育の推進

ア 生徒への気配り・心配りなどの配慮を旨とし、生徒理解のための教員と生徒との一対一の関係を重視した教育相談を日常的に実施し、生徒との信頼関係を構築して、心の教育を推進する。

イ はるかぜ道徳を通して、人間としての在り方・生き方の教育を推進し、豊かな人間性を育む。

ウ 東風クラブや委員会活動、学校行事、部活動などの特別活動を推進し、生徒間の交流を活性化させ、生徒の自主的・実践的な態度や社会性、自尊感情・自己有用感などの人間性を育む。

エ ボランティア活動や挨拶・服装等の向上を図るマナーアップ運動を展開し、社会人として必要なルールやマナーの基礎を育てる。

オ 基本的な生活習慣の確立を基礎とし、食事のあり方、睡眠、運動等の自己の健康に目を向け、健全な心身の発達を目指す。

(4) 不登校生徒や発達障害の傾向をもった生徒への支援の充実

ア 不登校生徒や発達障害の傾向をもった生徒に対して、学校あげて全教職員が一致協力して組織的に対応する。その集約は、教育相談担当教員が行い、具体的な対応の方策を提案する。

イ 不登校生徒に対して、担任、教育相談担当教員及びスクールカウンセラーが定期的にカウンセリングを行い、また、家庭訪問や電話連絡を通して保護者との連携を密にし、外部の相談機関などの協力を得ながら、ケース会議を開いて具体的な係わりを明確にし、不登校の改善を図る。

ウ 発達障害の傾向をもった生徒に対して、その障害の把握と理解を図り、ケース会議を開いて個々の生徒への関わりを明確にし、全教職員の共通理解のもとに対応し、その対象生徒が安定した学校生活を送れるようにする。

(5) 開かれた学校づくりへの挑戦と募集定員の確保

ア 広報誌(学校案内、各種パンフレット)を発行し、学校ホームページを充実させることにより、一般の方々にも届く新しいタイプの情報発信を積極的に行う。

イ 学校行事(東風祭、芸術鑑賞会など)や授業(教科、道徳など)を地域や保護者、中

- 学生などに一般公開することにより、本校の教育活動の理解と周知を図る。
- ウ 中学校や塾の教員対象の説明会を実施し、また、中学校や塾を積極的に訪問することにより、中学校や塾との連携強化と教員との信頼関係の構築を図る。
- エ 中学生や小学校高学年の児童生徒及びその保護者に本校の特色と魅力を認知してもらうための新規学校主催行事を実施する。
- オ 学校見学会、入試説明会、入試対策学習会及び入試相談会を実施し、本校への入学の動機づけを強固なものとする。

5 生きる力を育む「東風教育」

- (1) **コース制** … 特別進学コース，進学コース，医療・看護進学コース
- (2) **個に応じた教育** … 少人数指導，習熟度別指導，個別面談の実施
- (3) **はるかぜ道德** … 週1時間全学年で実施，公開授業
- (4) **東風クラブ** … 本部役員，評議会，委員会，学級会
- (5) **課外授業** … 平日課外，土曜課外，代々木ゼミナールサテライン講座
- (6) **学校行事** … 校内研修，校外研修，東風祭，はるかぜ感謝祭，プラムカップ，修学旅行，歩く会，芸術鑑賞会，予餞会
- (7) **ICT教育** … i P a d等のICT機器を使った「楽しく・わかりやすい授業」の実践